

### サステナビリティ ESGトップランナーに向けて

事業活動でのESG

1980年の誕生から、40年間かわらないESG視点に、さらに磨きをかけ、 2030年に向けて、ESGの民主化、社会インパクトのあるESGの実現に貢献していきます。

商品におけるESG	すべての商品をサーキュラーデザインにして、誰もが手に取りやすい価格で提供することで、ESGを民主化し、
	ESGの思想が世の中に広く浸透することに貢献します。

ステークホルダーの皆様とともに、ESGの思想に基づき、事業活動に関わる社会コストを削減し、環境負荷を 低減します。同時に、事業活動そのもので直接的に社会課題の解決を図ります。

**土着化活動でのESG** 地域での土着化活動を通じて、地域を活性化する、良い社会インパクトをつくっていきます。

### 上記の実現に向けた4つの指標を設定し、実績と進捗を継続的に開示していきます。



### 1. 資源循環型・自然共生型・持続可能な社会の実現

- 化石由来原料の燃焼の低減
- 倫理的な生産工程の保証
- サステナビリティの民主化\*

### 2. 十着化による地域課題解決と地域活性化の実現

- 高齢化や人口減少に伴う課題解決
- 地域での出店と産業の活性化
- 地域コミュニティと伝統文化

### 3. 高い社員エンゲージメントと課題解決スキルの習得

- 自発的で自律的な組織風土の実現
- 社会課題に対する高い感度・解決意識と行動
- 多様性の積極活用
- 誰もが居場所を持ち活躍できる職場の実現

### 4. 公益人本主義経営の実現

- コオウンド化に向けた取り組み
- 株主からの高い支持
- 生活者、お客さま、地域社会からの高い支持

### 資源循環型・自然共生型・持続可能な社会の実現

### 気候変動への対応

良品計画は、気候変動への対応を確実に実行し、環境パフォーマンスの向上に取り組むとともに、ホームページなどを通じて積極的に情報を開 示することにより、社会からの信頼向上に努めています。

環境パフォーマンスに関する情報開示については、東京都環境局へ提出している「地球温暖化対策報告書」などの設問書に回答しています。なお、コーポレートガバナンス・コードに対応し、「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言に基づいた、情報開示を2022年内に実施します。

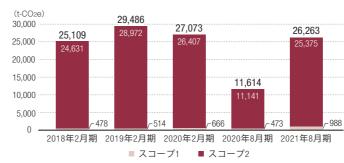
### CO2排出量を2030年までに50%削減(スコープ1、2)

良品計画は、気候変動に関わる課題を重要なテーマとして捉え、2030年までに温室効果ガス排出量を2020年2月期比で50%削減することを 目標として掲げています。脱炭素経営に向けたアクションを着実に進めるため、2030年までに店舗への再生可能エネルギー導入100%、そして 自社の店舗設備での太陽光パネル設置100%を目指します。また、取引先などと協働し、省エネルギー化を推進、事業活動におけるエネルギー 効率の向上に取り組んでいきます。

### 温室効果ガス排出量

世界共通で利用されている温室効果ガス(GHG)排出量の算定ガイドライン「GHGプロトコル」に準じ、良品計画の温室効果ガス排出量を算定しています。無印良品を展開している国・地域の実績把握も今後進めていきます。

### スコープ1ガス(自社直接排出) スコープ2 電気(自社間接排出)



- ※集計範囲は、日本国内の無印良品直営店と自社物流センター、本社ビルほか自社保有施設のGHG排出量を集計しています。
  ※スコープ1、2の排出係数は、温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度で定める係数
- を使用しています。 ※ 2020年8月期は、決算期変更により、2020年3月1日から2020年8月31日までの6ヵ月
- ※ 2020年8月期は、決算期変更により、2020年3月1日から2020年8月31日までの6ヵ月となっています。

### スコープ3

(t-CO2e)

	(1 0 0 0 0 7
カテゴリ	2021年8月期
1. 購入した製品・サービス	704,321
2. 資本財	26,618
3. スコープ1、2に含まれない燃料・エネルギー関連活動	4,455
4. 輸送、配送(上流)	49,175
5. 事業活動から出る廃棄物	210
6. 出張	956
7. 雇用者の通勤	3,386
8. リース資産(上流)	-
9. 輸送、配送(下流)	-
10. 販売した製品の加工	-
11. 販売した製品の使用	64,155
12. 販売した製品の廃棄	591
13. リース資産(下流)	-
14. フランチャイズ	4,062
15. 投資	-
スコープ3 合計	857,928

※ 排出係数:環境省排出原単位データベースやIDEAv2などを使用しています。

### 事業全体での再生可能エネルギーの導入、省エネルギーへの取り組み

### 再生可能エネルギーの導入、太陽光パネルの設置

自社でコントロールできる拠点から再生可能エネルギーの導入、太陽光パネルの設置を進めていきます。

### 鳩山センターのソーラーパネルと再生可能エネルギーの導入

鳩山センターでは屋上に1,400kWhの太陽光発電パネルを設置しています。この太陽光発電パネルでは一般家庭の年間消費電力約228世帯分の電力をまかなうことができます。年間約494トンのCO2を削減し、使用する電力量の約半分は再生可能エネルギーを導入しています。

### 照明のLEDランプへの切り替え

店舗の照明は順次LEDに切り替えており、本社ビルは2022年2月に切り替えを完了しています。

43 MUJI REPORT 2021 44

<sup>※</sup> サステナビリティの民主化: 現在の消費市場では、一般的に企業がESGやサステナビリティの取り組みを強化することは、一定のコストを消費者の方にもご負担いただくかたちで成り立っていると考えます。良品計画は、環境や社会への取り組みを自然に無理なく実施し、商品・サービスを手に取りやすい価格で提供します。私たちは、無印良品を通じて、環境負荷軽減を日常生活に溶け込むかたちで実現していきたいと考えており、それこそが創業の理念でもあります。この考えを実践し、広く普及拡大していくことを「サステナビリティの民主化」、と表現しています。

そのほかの取り組み https://ryohin-keikaku.jp/sustainability/environment/energy/

### 倫理的な生産工程の保証に向けて

### 環境に配慮した商品の開発

無印良品のものづくりの基本となる考え方は、1980年のブランド創生以来変わっていません。環境・社会に配慮した3つの視点、①素材の選 択、②工程の点検、③包装の簡略化、を守りながら商品をつくり続けています。地球環境や生産者に配慮した素材を選び、すべての工程にお いて無駄を省き、本当に必要なものを本当に必要なかたちでお客さまに提供することを目指した、実質本位のものづくりです。この3つの視点 に基づき、原料調達や廃棄物削減に取り組んでいます。

### 1. 素材の選択

おいしくて健康にも役立つ食品、着心地良く身体になじむ衣服、使い勝手を第一に考えた生活雑貨など、ふだん見過ごし がちなものづくりの基本に常に立ち返って素材を見直します。

品質は変わらないのに見栄えのためだけに捨てられているもの、業務用の素材、世界中から見つけた原材料や、安価で 大量に確保できる旬のものなどを生かして、低価格で質の良い商品を提供します。

### 2. 工程の点検

一つの商品ができるまでのプロセスを徹底的に点検します。例えば、選り分けたり、大きさを揃える手間をなくし、規格外 のサイズやかたちが理由で捨てられていたものも商品にします。不揃いのままだったり、つや出しせずに仕上げたり、商品 本来の質に関係のないムダな作業を省いて必要な工程だけを生かしています。素材をムダなく生かし、コストダウンにもな る、実質本位のものづくりです。

### 3.包装の簡略化

無印良品のすべての商品は、誕生以来、成り立ちのわけが印刷されているパッケージかタグがついているだけで店頭に 並んでいます。包装が必要なものは、まとめて一括包装にしたり、共通容器に入れるなど、過剰な包装をしていません。地 球の資源をムダにせず、ごみを減らす取り組みを続けています。

### 原料調達の考え方

無印良品は、先人たちにならい、天然素材が本来持つ機能を生かしたものづくりをすすめ ています。原料となる素材は、地球、動植物、生産者に余計な負荷をなるべくかけない方法 で採取、栽培されたものを選択するよう取り組んでいます。また、一次原料については可能 な限り生産地がトレースできるものを使用し、中でも主要な原料は実際に生産地を訪れ、採 取・栽培場所の状況や生産者のくらしを自分たちの目で確認しています。これからも、使う 人・つくる人・自然に対する向き合い方を考えて、原材料を調達するように努めます。



調達の詳細情報はhttps://ryohin-keikaku.jp/sustainability/activities/material/

### 化学物質管理

良品計画は、製造委託先の工場に対して、「生産パートナー行動規範」に基づき、環境汚染の可能性がある化学物質の安全な管理と水や 大気の汚染防止と低減を求めています。自社の品質基準を定めた「良品基準」の中で、使用禁止とする化学物質を明記し、生産パートナーと 共有しています。製造工程においても禁止された化学物質は使用せず、各国・地域の法令で指定された化学物質に関しては、法令に基づき 排出量を把握し、行政へ報告を行います。

### 生物多様性への取り組み

今、地球上に暮らす生きもののうち、およそ38,000種以 上の野生生物が絶滅の危機に瀕しています。

「商いを通じて社会に貢献する」というテーマのもと、良 品計画は、絶滅の恐れがある生きものをモチーフにした、 「プリントTシャツ」の売上金の一部を生物多様性の 保全や自然環境保護に向けた取り組みを行う、IUCN-J (国際自然保護連合日本委員会)に寄付し、活動を支 援しています。

### 寄付実績

2020年2月期	1,458,170円
2019年2月期	1,268,793円
2018年2月期	1,034,850円
2017年2月期	1,164,969円
2016年2月期	1,114,218円



### サプライチェーンマネジメント

### 人権の尊重に関する方針

サプライチェーンに関わるすべての人の基本的人権を尊重し、心身の健康や安心・安全を確保することが、最も重要な責務だと考えています。 そのために、良品計画は「生産パートナー行動規範」を策定し、差別や児童労働・強制労働をはじめとするいかなる人権侵害にも加担しないこ とをすべての取引先工場に要請しています。本行動規範は、国際労働機関(ILO)の中核的労働基準、国連グローバル・コンパクトの10原則、 国連のビジネスと人権に関する指導原則など、グローバルレベルの人権原則や宣言を基盤としています。

### サプライチェーンの考え方

良品計画で取り扱っているすべての商品は、自社では製造を行わず、 **社内推進体制** 商品製造/生産はすべて生産パートナーに委託していることから、調 達基準を通じて生産パートナーとともに取り組んでいくことを極めて重 要なことと考えています。

### 調達基準

「生産パートナー行動規範」に基づき、サプライチェーン全体の労働環 境、人権尊重、環境配慮の方針を取引先工場と共有し、遵守をお願い するとともに、人権尊重に向けた取り組みを進めています。本行動規範 は、世界中のすべての生産を委託している取引先工場に、日本語、英 語、中国語で配布し伝えています。

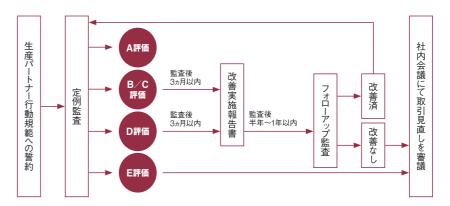
担当部門·担当委員会	2021年8月期
コンプライアンスリスク管理委 員会	人権全般 (グループコンプライアンス行動指針や生産パートナー 行動規範などの監督)
人事総務部	従業員の差別・ハラスメントの排除、賃金、労働時間、従 業員の報告相談窓口など
安全衛生委員会	労働安全衛生
ITサービス部	プライバシー(個人情報保護を含む)
開発·生産部、監査室、 広報·ESG推進部	サプライチェーンの人権

製造を委託するすべての生産パートナーに対しては、本行動規範の遵守誓約への署名を要請し、遵守を誓約いただけるサプライヤーとのみ取 引を行います。生活者や環境および生産者にも配慮した商品やサービスを無印良品として具体化することで、「感じ良い暮らしと社会」の実現 を目指します。

### ● モニタリング

良品計画は、生産パートナーと協働で、サプライチェーンにおける人権の尊重や労働関連法令の遵守、労働環境の改善、環境配慮に積極的 に取り組み、社会的責任を果たしていくため、取引先工場のモニタリングを実施しています。

#### 労働環境モニタリングの仕組み



取引先工場のモニタリング https://ryohin-keikaku.jp/sustainability/supply-chain/monitoring/

### ● サプライチェーンのデュー・ディリジェンス・プロセス

良品計画は上記モニタリングなどの人権デュー・ディリジェンスのプロセスを通じて、国連指導原則に準拠して潜在的な人権侵害リスクの発見 と防止に努めています。

また、サプライチェーン上流の原料の調達においてもデュー・ディリジェンス・プロセスを順次進めています。無印良品の衣料品の主力原料の一 つである綿については、インド、トルコ、中国など世界各地から綿花を調達しています。良品計画が使用する綿や糸は、第三者機関が認定する 有機認証を取得しています。この認証は、国際労働機関(ILO)が定めた労働条件を遵守していることを認証の条件とするものです。

今後も良品計画は、サプライチェーンにおける人権侵害を防止するために、サプライチェーン上の企業に対して、より一層の労働環境の向上を働きかけ るとともに、今後も注意深く情報収集に努め、デュー・ディリジェンスなどの措置を適切に実施していきます。

**45** MUJI REPORT 2021 MUJI REPORT 2021 46

### 品質

### 品質の考え方

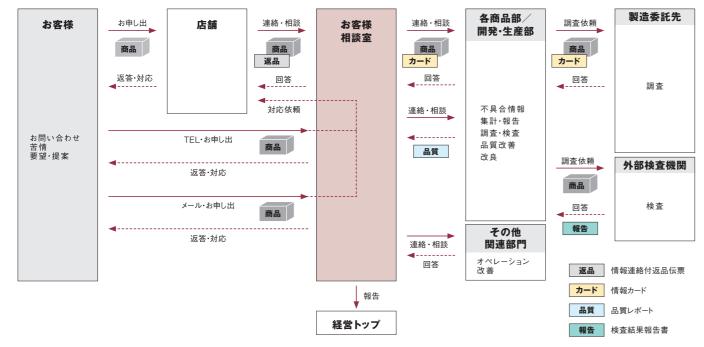
無印良品では、「良品基準」に基づいて、設計開発・調達・生産の各工程を点検し、安心・安全な商品の提供に努め、以下を継続的に実現して いくことを目指します。

- 生活者視点で探求された価値とわけを持つ「良品 |
- 生活者や生産者、環境への配慮
- 社会全体や地球人としての課題の解決
- 品質事故ゼロ
- 不良率の低減
- 品質重視意識の徹底

「良品基準」については https://ryohin-keikaku.jp/sustainability/activities/quality/

### 品質管理への取り組み

お客さまからいただく商品に関するお声は、すべて専用のデータベース(「声ナビ」システム)に登録され、その内容に応じて、開発・生産部、各商 品部、その他関連部門が連携し迅速に対応しています。専用のデータベースには、取引先および工場が直接アクセスし内容を確認することで、 品質問題にスピード感をもって対応できる環境を整えています。また、必要に応じて、外部検査機関との連携を開発・生産部が行っています。



### リスクアセスメント

製品事故および不良・苦情を起こさないことを目的に、製品のデザイン、設計、製造、流通および使用環境におけるリスクを評価する「リスクア セスメント」を行っています。製品事故の再発防止の取り組みはもちろん、製品の企画開発・設計の段階で、上記のリスク(合理的に予測可能 な誤使用による事故、不良・苦情も含む)を洗い出し、未然にそのリスク因子に対処しています。

設計初期の段階においてリスクアセスメントを実施することにより、製品が企画開発されてから使用され、廃棄されるまでの製品ライフサイクル 全般におけるリスクを抽出するとともに、抽出されたリスクに対する課題解決を設計に盛り込み、市場にて事故、不良、苦情などが発生するリス クを低減し、円滑な商品化を目指しています。

### 循環型社会への取り組み

無印良品はモノをつくり、モノを売る立場として、役割を終えたモノたちの行く末を考えています。長年ご愛用いただいた無印良品の商品を、店 頭にて回収。そのうえで、ムリ・ムダの少ないリサイクルや、先人の知恵を生かしたリユースをご提案しています。

自然とのより良い関係を考え、地球資源の循環化および廃棄物削減を目指して、できることから取り組みを進めています。

リサイクルの目標や詳細情報はhttps://ryohin-keikaku.jp/sustainability/activities/recycle/

### 1

ください

## 2

全国の無印良品 お預かりした の店舗にお持ち 状態を 確認します

無印良品の衣料 品全般(下着を除 く)・タオル・シーツ・ カバー類

### 着ることが できない

手を加えるこ とで着ること ができる

### 3 リサイクル

服の原料などにリサイクルされます。



日本国内で染め直して新たな商品として限定店舗で 販売します。



環境や社会課題に 取り組む店舗として 「MUJI新宿」をリニューアル https://ryohin-keikaku.jp/ news/2021×0812.html

### プラスチックボトルの回収

プラスチックごみ削減の一環として「PET素 材回収リサイクル」を行っています。使い終 わった化粧水や乳液のボトル、自分で詰め る水のボトルを店頭で回収し、リサイクルす ることで、プラスチックごみを削減し、石油由 来原料の有効活用につなげます。



回収量 729kg (2021年8月期)

### 再生ウール

良品計画は、生産過程で発生する裁断端 切れや、汚れや傷で販売できなくなった製品 の一部を、再び糸にして、素材として再生し、 製品化にも取り組んでいます。



### 廃棄物削減への取り組み

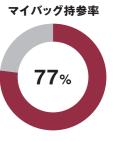
地球資源の循環および廃棄物削減を目指 して、ショッピングバッグ、商品パッケージや 売場陳列用資材の素材を順次見直してい ます。現在のプラスチック原料を中心とした パッケージを無くす、もしくは再生紙などの 代替素材へと可能なかぎり変更を進めてい ます。



### マイバッグの推進

良品計画は、プラスチック製のショッピング バッグを2020年3月以降順次廃止し、6月 末までに、すべての店舗で紙製のショッピン グバッグのみへと変更しました。

また、シェアバッグ(再生ポリプロピレン製)を デポジット制にするなど、プラスチック削減に 取り組んでいます。



**47** MUJI REPORT 2021 MUJI REPORT 2021 48

### 土着化による地域課題解決と地域活性化の実現

### 地域・コミュニティとともに

「感じ良い暮らしと社会」の実現を目指す良品計画は、世界中のさまざまな国・地域において、生活に必要な商品の販売のみならず、各地域で起きているさまざまな課題に目を向けています。

### 地域に巻き込まれる取り組み

各地域では、自治体や地元住民が主役となり、それに無印良品が巻き込まれるかたちで地域を活性化していく、さまざまな取り組みをすすめています。

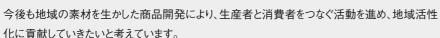
### **Special feature**

### 地域の素材を生かした商品開発「難波ネギ」

良品計画では、それぞれの土地や風土に伝わる素材の魅力を生かした地域商品を仕入れて販売したり、地域の生産者や事業者の商品開発を支援する取り組みをスタートしています。

近畿地区では、「泉州玉ねぎのカレーアヒージョ」や「京野菜のピザシリーズ」など、いち早くから地元の素材を生かした冷凍食品や加工食品の商品化を進めていました。そんな中、新たな取り組みとして、地元農家さんと協業したのが「難波ネギーです。

50年前、ネギと言えば「難波ネギ」を指していたほど、主流のネギでしたが、すぐに葉が折れたり、中のぬめりが強すぎて加工しにくい、といった理由から生産者が減っていました。しかし、一部農家さんの長年の努力が実り、近年になって、その味や良さが再評価され、「なにわの伝統野菜」に認証されてからは、多くの方から注目されるようになりました。難波ネギ最大の特徴は「ぬめり」です。本来のネギの甘み、旨味を多く含んでいるため、加熱することで、より一層おいしく召し上がれます。地域事業部の活動として南大阪地域では、そんな貴重な「難波ネギ」を活用する活動を進めており、本社食品部と連動して自社開発した「難波ネギせんべい」を全国の無印良品で限定販売したり、地元食品企業の商品開発に協力して製品化した冷凍食品の「ねぎ焼き」を地元の店舗が仕入れ販売しています。







### 無印良品 港南台バーズ

「無印良品 港南台バーズ」は、2021年4月に衣料品や生活雑貨を扱う1階フロアをオープンし、翌5月に食品を扱う地下1階のフロアをオープンしました。2フロアで合計約5,000㎡の売場面積は、関東地方の無印良品で最大の店舗です。

地下1階の食品フロアは、スーパーマーケットのクイーンズ伊勢丹と、築地に本社を置き鮮魚を扱う中島水産との協業フロアになっています。2社と協業し食材を本格的に取り扱う売場を設けたのは、地元の方の要望が大きかったためです。これは、オープン前の2020年10月頃から、近隣のさまざまな場所を訪れ、聞き込みを重ねたことで見えた地域の課題でした。また、店舗から徒歩圏内にある大規模団地では高齢化が進み、お買い物に困っている方が多いことがわかりました。そこで、週に1回、ミニバンで団地を訪れ、出張販売を行っています。住民のリクエストを受けて商品ラインアップを変えたり、収納の相談会を行うなど地域の方とのコミュニケーションを深めながら、課題解決に向けさまざまな取り組みを進めています。地域にとって必要な存在となり、店舗を中心としたコミュニティ全体の活性化を目指しています。





### 大学・外部団体との連携

大学やNPOとの連携により、地域・コミュニティの活性化に貢献しています。

### Special feature

### 福島学院大学との連携授業

福島学院大学から「福島県の地域産品を使った商品開発の授業を行えないか」との呼びかけに、全4回の授業に協力しました。

この授業は、無印良品の商品開発事例を通じてより深いマーケティングを学び、地域の産品を使った商品開発の手法を身につけるとともに、地域課題を解決していく能力を身につけることを目的としたもので、福島県浪江町の酒蔵・鈴木酒造(東日本大震災の影響を受け、現在は山形県長井市で操業中)の「酒粕」を活用した商品開発をテーマに実施されました。

最終発表会では、酒粕と浪江町の特産品であるトルコギキョウを使ったベビーパウダーや、粕取り焼酎に福島のフルーツピールを漬け込んだクラフトジン、酒粕に福島のドライフルーツとはちみつを合わせたフルーツバーなどさまざまな商品が提案されました。 今後、酒粕を活用した商品の開発を検討していく予定です。



### 公共のデザイン

たくさんの方々が使用する公共の空間を良心とイノベーションでデザインし、現代社会で分断されてしまっている人と人、人と自然、人と社会をつなぎ、関係を再構築することを目指しています。

### **Special feature**

### 宮崎県「日南駅 | の駅舎リニューアル

2020年3月にリニューアルした宮崎県「日南駅」の駅舎は、"電車を待つだけじゃない、だれもが心地よく過ごせるコミュティスペースとしての駅舎"をテーマに、日南市および地元や関連企業と協創し、地域の方々が集える場に生まれ変わりました。良品計画は、本プロジェクトに駅改修に関わる企画立案や地域住民へのヒアリング・ワークショップの実施などを協力しました。

コミュニティスペース内には、学生より要望の多かった自由に使用できる学習スペースを設置し、電車の待ち時間を有効活用できる空間としました。合わせて、子育て世代の意見も反映し、小さなこども連れでも訪れやすいよう、小上がりの和室を整備しています。また、外装や窓枠の一部には、地元特産である飫肥杉(おびすぎ)を使用し、ぬくもりのある外観となっています。



© paak design

この駅舎リニューアルは、第39回となるディスプレイ産業賞で奨励賞、第6回となる「ウッドデザイン賞2020」のソーシャルデザイン 部門で入賞しました。

49 MUJI REPORT 2021 MUJI REPORT 2021 50

### コミュニティ支援

人と人とのつながりを深めてコミュニティを再生すること、身近なところから自然との共生を取り戻すこと。より良い未来に向けたさまざまな取り組みは、すでに各地で始まっています。良品計画は、そうした活動やそれを担う人々を商品やサービスを通して支援しています。

### Special feature

### グローバルにおける産業支援の取り組み

中国大陸において約300店舗を展開する無印良品(上海)商業有限公司は、2020年7月、湖南省十八洞村地域の産業支援を目的に、同地域の天然洞窟で汲み出した、不純物が少なく飲んでもおいしいミネラルウオーターを商品化しました。自然資源の活用に加え、地元の雇用創出や産業振興にもつながる取り組みです。

また、2021年1月、北京現代芸術基金(BCAF)と提携し、無印良品の考え方に共感いただいたアーティストによるデザインの ジュートマイバッグを販売し、売上金の一部を児童公益プロジェクトに寄付しています。

加えて、2021年6月より、環境保護に関する公益プラットフォーム「アント・フォレスト」と連携し、環境に配慮し、レジ袋を辞退されたすべてのお客さまや紙レシートを辞退された「MUJI passport」メンバーに、グリーンエネルギーポイントを付与し、植樹や土地の保護につなげる取り組みもスタートしました。

環境や社会・地域のために何ができるかを考え、「商い」を通じて社会に貢献することを目指します。



### こども食堂

「無印良品 東京有明」では、2020年12月の開業以来、地域に役に立つことを目指してさまざまな取り組みを進めています。自治会、江東区こども未来部、こども家庭支援センター、地元のこども食堂の方々から地域の状況を伺ったり、支援活動への参加を通

して、こどもが自宅で一人で食事をとることが増えていたり、困っていてもなかなか声を上 げにくい状況があることを知りました。

これらの課題に対して何ができるか店舗スタッフで話し合いを進め、2021年8月より毎月第4水曜日に、同店内の「Café&Meal MUJI」にて「無印良品 東京有明のこども食堂」を始めました。この「こども食堂」が安心して過ごせる居場所となり、地域の助け合いの場所となることを目指して毎月開催していく予定です。

無印良品を通して、「こども食堂」を知ってもらい、10年先にはこの活動がなくなる社会となるよう、今後もさまざまな取り組みに挑戦していきます。



# 17自治体と20の連携協定を締結 ~店舗は人と人、人と自然、人と社会をつなぐ場へ~

良品計画は、「感じ良い暮らしと社会」の実現を目指し、各自治体や地元住民が主役となって、それに無印良品が巻き込まれるかたちで地域を活性化していく、さまざまな取り組みを進めています。2021年10月末時点で、全国17の自治体と20の連携協定を締結しています。各自治体と連携し、地産地消や雇用創出、まちづくりなど、新たな価値を共創し、地域の皆様の役に立つ取り組みを推進しています。

<b>台沙社</b> 名	协业点
自治体名	協定名
2017年	1 まとべきいに明まるが、しまった。 でゆや
11月:東京都豊島区	1. まちづくりに関するパートナーシップ協定
2019年	
4月:千葉県鴨川市	2. 地域活性化に関する協定
7月:山形県酒田市	3. 地域発展を目指すパートナーシップ協定
12月:茨城県常総市	4. 公営団地活性化に関する協定
2020年	
1月:新潟県上越市·頸城自動車株式会社	5. 地域活性化に向けた包括連携に関する協定
9月:新潟県十日町市	6. 十日町市と株式会社良品計画との連携に関する協定
011 - WINDOW   H-01112	7. 派遣社員に関する協定書
40日・丁華目、ナルギ 末頭末切海発物戸組入 サーム社の170日0 1011141	8. 連携協定
10月:千葉県いすみ市・夷隅東部漁業協同組合・株式会社SOTOBO ISUMI	9. 派遣社員に関する協定書
11月:東京都江東区	10. 江東区のリサイクル事業等に関する協力協定
	11. 浪江町と株式会社良品計画との連携に関する協定書
11月:福島県浪江町	12. 派遣社員に関する協定書
2021年	
3月: 千葉県鴨川市・東安房漁業協同組合	13. 連携協定書
5月:神奈川県横浜市	14. 感じ良い暮らしと社会の実現に向けた包括連携協定
5月:福島県会津若松市	15. 地域社会の発展と地域活性化の推進を目指す協定
5月:熊本県熊本市	16. 水を通じた持続可能な社会の実現のための連携協定
6月: 北海道茅部郡森町	17. 地域社会の発展と地域経済の活性化の推進を目指す協定
9月:東京都新宿区	18. 食品ロス削減の推進等に関する連携協定
10月:栃木県芳賀郡益子町	19. 持続可能な地域づくりのための包括連携に関する協定
10月:愛知県春日井市	20. 春日井市の「感じ良い暮らしの向上」に関する連携協定

2021年10月末現在

今後も、さまざまな地域の課題にともに向き合い、地域社会の発展と地域活性化の推進に寄与していきます。

51 MUJI REPORT 2021 52

### 高い社員エンゲージメントと課題解決スキルの習得

### 誰もが居場所を持ち活躍できる職場の実現

### 雇用・労働の考え方

良品計画は、雇用にあたっては、事業活動を行う国・地域の慣習を理解するとともに、それらの国・地域で定める法令を遵守しています。 また、雇用・労働に関する方針やグループコンプライアンス行動指針などを記載する「無印良品の働きかた」という冊子は、日本語・英語・中国 語の3つの言語で発行し、従業員全員が内容を理解するため、これに関する説明・研修は入社時に全従業員を対象に開催しています。

- 1. 無印良品に関わり、働く仲間たちの永続的な幸せの実現を目指します。
- 2. 働く仲間の心身のゆとり、豊かさ、プロフェッショナルとしての成長を追求します。
- 3. 働く仲間の個性、人権、プライバシーを尊重し、差別を排除し、いかなるハラスメ ントも許しません。
- 4. 性別、国籍、民族、宗教の多様性を尊び、違いから学び、互いに助け合い成長し ます。







### 従業員数の推移(良品計画グループ)



### 安全で健康的な労働環境

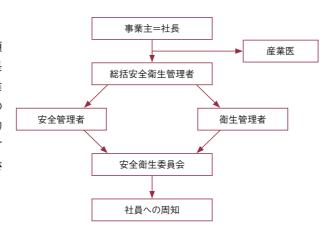
従業員を危険にさらさず安全で健康的な労働環境を確保します。そのために、安全な飲み水と適切な衛生設備、照明設備、温度調節設備、換 気設備、更衣室などを提供します。

業務上の労働基準・安全・衛生などに関する法令などを遵守し、一人ひとりの心身の健康状態に配慮し、健康的で安全かつ衛生的な職場環 境の維持・整備とともに、労働災害を未然に防ぐことに努めます。また、労働時間や休憩時間、休暇に関する国際基準と現地法令を遵守し、残 業を前提としない働き方を推進しています。万一、職場で災害・事故・その他トラブルが発生したときは、被害を最小限にとどめるよう努め、速や かに再発防止に取り組みます。

良品計画では、年次休暇・公休を計画的に取得するために、すべての従業員は、年初に各自の年間休暇計画を勤怠管理システムに登録し、マ ネージャーが承認します。人事担当は登録状況をモニタリングし、未登録や必要日数不足の場合は、従業員とマネージャーに注意喚起します。 従業員は計画に沿って勤務および休暇を取得しますが、進捗は人事担当が勤怠管理システムを使用して追跡し、法令に沿って計画どおり休 暇が取得されるよう管理しています。

#### 安全衛生委員会

良品計画では、事業所の安全衛生および社員の健康管理に関する事項 について調査審議するために安全衛生委員会を設置しています。委員長 には役員を任命しています。安全衛生委員会は安全衛生管理者、産業 医、社員・組合代表で毎月開催し、店舗、オフィスの安全管理や従業員の 健康管理・メンタルケアなどの具体的な課題について議論し、解決に取り 組んでいます。加えて、従業員50名以上(アルバイト除く)の店舗において 安全衛生委員会の設置が義務付けられており、店長や地域ごとに選任さ れた産業医を中心に、毎月1回開催されています。



### 多様性の積極活用

良品計画は、世界中で働く従業員一人ひとりの違いを個性として尊重し、働く仲間の永続的な幸せを第一の目標としています。

### ● 女性活躍推進

良品計画は、すべての社員のさらなる活躍を推進するために、介護、疾病治療、育児などの 両立、社員のさまざまなライフスタイルの変化も考慮した行動計画に取り組んでいます。その ために、必要な環境整備を整え、女性が安心して長く働き活躍できる会社を目指します。一 方、ライフスタイルの変化に悩む前の若い世代のチャレンジや経験を増やす施策を打ち、早 い段階でキャリアプランを描けるよう、ジョブディスクリプションと組み合わせた研修を実施し ています。

<女性管理職比率の数値目標> 35%以上 <女性管理職比率の実績> 35.0% **<取締役・執行役員の女性比率>** 12%(3/25名) <従業員の女性比率> 55.3%

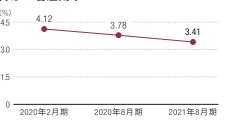
※株式会社良品計画のみ(2021年8月31日現在)

#### ● 障がい者雇用

良品計画では2000年に障がい者雇用をスタート、2009年にはハートフルプロジェクトが発 足し、「働く仲間の永続的な幸せ | 「仲間を信じ助け合いともに育つ | 「店舗での雇用拡大 および雇用定着」を目的に障がい者雇用を進めています。障がい者の方の能力が引き出せ るよう各個人の特性・個性にあった雇用管理や指導の工夫などのサポート体制、また評価 によるステップアップ制度を構築しています。

第二創業期を機に"地域への土着化"を目指していく各店舗では、ハートフルプロジェクトも 地域とともに推進、活躍の場の創出に向け障がい者とともに歩んでいきます。

### 障がい者雇用率



※株式会社良品計画のみ(2021年8月31日現在)

### ● ワークライフバランスを支援する制度

出産・育児、介護といったライフイベントと仕事を両立するために、多様な働き方を選択でき る制度を提供しています。育児休暇・介護休暇制度、時短勤務制度、チャイルドケア制度、 フレックスタイム制度など、男女を問わずすべての従業員が利用できる、ワークライフバラン スを支援する制度を設けています。

育児を行う社員の勤務時間の短縮を認めるチャイルドケア制度についても、2016年より適 用期間を従来の小学校1年生までから小学校4年生終了時までに延長して、安心して働け る環境づくりに取り組んでいます。

また、日本国内の本部従業員を対象に、2019年2月期から在宅勤務制度を導入し、2020 年9月より在宅勤務時の水道光熱費・通信費の手当支給(日額で支給)やモニターの貸出 などのサポートも提供しています。

### チャイルドケア制度の平均取得者数



### 組織活性度調査

店舗・本部における「仕事の進め方」「人間関係」などについて、スタッフがどのように認識しているか定量的に把握し、その結果から想定される 具体的な組織活性度上の課題を改善するため、スタッフ全員(本社員・嘱託社員・パートナー・アルバイトを含む)を対象に組織活性度調査を実 施しています。2018年5月に11.172名(回答率74%)、2019年5月に13.201名(回答率77%)、2020年11月に14.780名(回答率92.1%)の 社員が参加しました。

現在、目指す企業風土をより反映できるような調査内容とすべく、見直しを実施しています。

「自発的で自律的な組織風土の実現」と「社会課題に対する高い感度・解決意識と行動」についてはP.33、35、36をご覧ください。

**53** MUJI REPORT 2021 MUJI REPORT 2021 **54** 

## 公益人本主義経営の実践

### ステークホルダーエンゲージメント

良品計画は、「感じ良い暮らしと社会」に貢献するために、お客様、地域・社会の皆様、株主・投資家の皆様、お取引先さま、従業員との建設的 な対話を通じて、ステークホルダーの皆様からの要請や期待を的確に把握し、それらに応えていくことが重要と考えています。

### ステークホルダーとの対話

ステークホルダー	主な対話方法	対応事例
お客さま	店頭での接客、イベント開催 アプリなどSNSの記事配信 お客様相談室へのお問い合わせ お客さま参加型コミュニティサイト(IDEA PARK)	無料アプリ「MUJI passport」を介しお客さまと直接つながる機会が増加しています。国内は累計2,451万ダウンロード(2021年8月31日時点)、各店舗から約4万件以上の記事を配信しています。
地域・社会	地域活動への参加 自治体との地域連携協定 災害支援	2017年から地域活性化に向けた連携協定を東京都豊島区をはじめ、千葉県鴨川市や山形県酒田市などと締結しています。
株主・投資家	株主総会 株主ミーティング 決算説明会 投資家ミーティング	第43期定時株主総会は約250名の株主(会場99名、オンライン約150名)が参加され、企業サイトで動画を配信しました。また株主総会後には株主ミーティングを実施し、コミュニケーションを深めました。
取引先	お取引先説明会 お取引先アンケート お取引先工場CSR監査 お取引先ヘルプライン(通報窓口)	定例のお取引先説明会に加え、2020年7月に改正した「生産パートナー行動規範」に関する説明会を開催しました。
従業員	GOOD MEETING 社員ミーティング 従業員研修 自己評価制度とフィードバック面談 社内ポータルサイト・社内報 従業員ヘルプライン(内部通報窓口)	社員全体の当事者意識を高め、経営目標達成に向けた個々のチャレンジの源泉となるような全社会合の場がGOOD MEETINGです。グループ全体の半期の実績を共有し、翌期と将来のビジョンを理解することで明日への行動へつなげ、輝いている従業員を表彰する場として、半期に1回開催しています。

### 外部団体との連携

名称	加盟時期	ミッション
国連グローバル・コンバクト(UNGC)	2013年	人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止に関わる10の原則に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもとに、その実現に向けて努力を継続する。
ベターワーク計画(Better Work Programme)	2016年	国際労働機関(ILO)と世界銀行グループの国際金融公社(IFC)の共同プログラムで、政府、グローバルブランド、工場経営者、労働組合や工場従業員など、さまざまな企業や団体、人々と協働し、アパレル、フットウエア業界のサプライチェーンの安定性や競争力を高め、工場労働者の権利向上や労働環境の改善を実現する。
ジャパンサステナブルファッションアライアンス (JSFA)	2021年 (賛助会員)	ファッション産業が自然環境および社会に与える影響を把握し、ファッションおよび繊維業界の共通課題について共同で解決策を導き出し、「適量生産・適量購入・循環利用によるファッションロスゼロ」と「2050年カーボンニュートラル」を目標に、サステナブルなファッション産業への移行を推進することを目的とする。  【活動】 ファッションロスゼロに向けて、適量生産・適量購入・循環利用を推進することや、カーボンニュートラルに向けて、環境負荷・配慮の見える化を推進する。業界内の共通課題を改善するために必要な政策提言を関係省庁へ行う。また、生活者との双方向のコミュニケーションを生み出す仕組みづくりなどを行う。

### 2030年 ESG指標

項目		主なKPI	取り組み状況(21年8月末時点)
包材や資材の 脱プラスチック		①衣服・雑貨、生活雑貨、食品 それぞれの脱プラスチック化したアイテム数 の比率 (衛生・品質安全上プラスチックが必要なアイテム は除く)	①衣服·雑貨 14.0% 生活雑貨 13.2% 食品 PETボトルから缶ボトルに切り替え
		②削減したプラスチックの総重量	②衣服·維貨 52t 生活維貨 集計中 食品 213t
リサイクルを前提とした 製品設計	100%	①リサイクルを前提として設計されたアイテム数の比率 (衛生上リサイクル不可な製品は除く)	①生活雑貨 28.4%
回収したブラスチック 製品の再利用	100%	①回収したプラスチックの製品総重量 ②再利用したプラスチックの総重量 (当社製品以外への使用も含む)	①729kg (水ボトル、化粧水ボトル) ②729kg
自然繊維素材の オーガニック・動物福祉合致	100%	認証取得、または独自基準を作成し第三者 監査を行ったアイテム数の比率	<衣服雑貨>         綿 : オーガニックコットン100%(MUJI Labo除く)         ウール: ノンミュールジング100%         ダウン: 動物福祉が証明されたダウン※100%         <生活雑貨>         綿 : オーガニックコットン85.6%         ウール: ノンミュールジング100%         ダウン: 動物福祉が証明されたダウン※100%
原料まで遡った取引先の 人権デュー・ディリジェンス	100% 開示	①監査実施数(年間) ②評価の内訳	<ul> <li>&lt;製品メーカー&gt;         <ul> <li>①20工場</li> <li>②A評価0工場、B評価9工場、C評価7工場</li></ul></li></ul>
原料まで遡った 主要取引先リスト	100% 開示	主要取引先リスト	原料まで遡った主要取引先リストの開示に向けて準備中
二酸化炭素排出削減 (スコープ1、2)	50%削減	①スコープ1 (t-CO2e) ②スコープ2 (t-CO2e) 基準年:2020年2月期	①988(t-CO2e) ②25,275(t-CO2e) 合計 26,263(t-CO2e) 単位営業収益当たり排出量 12.5%削減(2020年2月期比)
再生可能エネルギー 導入店舗	100%	再生可能エネルギー導入店舗数、 物流センター数 (本社、キャンプ場含む)	鳩山センターに導入済 そのほか、導入に向け準備中
自社の店舗設備での 屋上太陽光パネル設置	100%	太陽光パネル設置店舗数、物流センター数 (ショッピングモールなど太陽光パネル設置不可店 舗は除く)	鳩山センターに導入済 そのほか、導入に向け準備中
<b>ダイバーシティ&amp;インクルージョンの</b> 実現 (年齢、ジェンダー、人種などの構成比公開)		①平均年齢 ②女性管理職比率 ③従業員の女性比率(正社員) ④従業員の外国人比率 ⑤障がい者雇用率	① 平均年齢 37.9歳(男性:39.6歳、女性:36.6歳) ② 女性管理職比率 35.0% ③ 従業員の女性比率(正社員)55.3% ④ 従業員の外国人比率 1.2% ⑤ 障がい者雇用率 3.41%

※飼育環境における動物の「5つの自由」が確保され、かつ強制的な給餌や生きている状態から採取されていないことが第三者機関により審査、証明された羽毛のみを使 用しています。(出展:農林水産省「アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理」)